

宮古小学校 ネット授業支援(水よう液の性質)

日時: 2013年12月5日

場所: お茶の水女子大学と宮古市立宮古小学校

参加者: 小学校6年生39名、教員1名

単元: 水よう液の性質

講師: 露久保 美夏(お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師)

実施方法:

水溶液の性質を調べるためにハーブティーとして飲まれている「マローブルー」を指示薬とした教材を児童数分送付し、事前に理科専任教員と打ち合わせを行い、テレビ電話機能を使って授業を行った。当センターの講師はアシスタント的な立場からモニターを通して効果的に教員と児童の授業サポートを行った。

実施結果:

リトマス試験紙を用いて水溶液の性質を調べる授業は通常行われているが、これでは酸性・中性・アルカリ性に強弱が存在することや異なる性質の水溶液が混ざることによってその強さが変化することは捉え難い。そこでマローブルーを指示薬に用い、砂糖・食塩・クエン酸・重曹・草木灰を溶かして現れた色から酸性・中性・アルカリ性を調べ、さらにそれぞれに強弱が存在することを学習した。本教材は机上で1人ずつ実験を行うことが出来るため、学習に対する意欲も高まり、知識の習得に効果的であった。この様子は岩手日報(宮古小学校側で取材)に掲載された。



アンケート結果(感想):

- ・いろいろな粉にマローブルー液をいれると色が変わることにおどろきました。他の粉でもやってみたいです。(児童)
- ・マローブルーを使って初めて実験しました。また、ネットをつないで東京の人と交流することができてよかったです。(児童)